

総 評

前期選抜と異なり、昨年度に引き続き、大問 4 つであった。分野の融合問題や読解力・思考力が問われる問題が多く見られた。特に第三問は一次関数が定番であったが総合問題的な構成となり、戸惑う生徒も多かったと思われるが、第一問、第二問が得点しやすく配点が高くなったことから、平均点は 50 点台前半程度と思われる。第一問、第二問をいかに速く正確に解き、丁寧な読解と計算が必要な第三問に時間を割けたかが問われた。

難易度・出題形式

【第一問】計算問題、等式変形、2 次方程式、関係を表す式、平面図形〈易～標準〉30 点

- 7 不等式の左辺右辺が表しているものが何かを問う問題。「文章を読み、関係を不等式で表す」問題は【直前特訓ゼミ全 4 回中 3 回】で扱っている他、各期講習会にて方程式の文章題を通して重要テーマとして扱っている。
- 8 円と三平方の定理を絡めた問題は【直前特訓ゼミ第 3 回と第 4 回】で扱っている。

【第二問】 $y=ax^2$ 、資料の活用と標本調査、1 次方程式、空間図形〈易～やや難〉32 点

- 1 $y=ax^2$ の変化の割合を求める問題、2 点から直線の式を求める問題いずれも【直前特訓ゼミ第 1 回と第 3 回】などで扱っている。変化の割合は公式で素早く処理できるように指導されている。
- 2 相対度数を求める問題は【直前特訓ゼミ第 3 回】で、標本調査の問題は【直前特訓ゼミ第 1 回と第 2 回】でそれぞれ扱っている。「割合」が正しく理解できているか、小学生の算数からの積み重ねが問われるともいえる。
- 4 底面積と体積がわかっているので、高さを求めるには体積公式通りまずは式を立てて解けばよい。中 3 の授業の中でも繰り返しやっている。

【第三問】1 次関数、代表値、方程式の融合問題〈標準～やや難〉23 点

- 1(1) 「身長か、美咲さんの身長との差か」「歩幅か、美咲さんの歩幅との差か」といった数値の処理を慎重に行う必要がある。なんとなく代入してみるや、計算したら出てきた値をなんとなく答えにしてみる、では太刀打できない。
- 1(2) 単位変換でのミスに気をつけたい。すぐ下の「3150m」に近い値になるはずであることにも気付きたい。
- 1(3) 代表値については【実戦ゼミで 5 回】扱っている。距離を歩数に変換する際にここでも単位に注意が必要である。
- 2(1) 1 時間で 1 万歩→1 時間で 10000 歩×60cm=600000cm=6000m→1 分で 6000m÷60 分=100m 進むので、3150m 歩くには $3150m \div 100m = 31.5$ 分=31 分 30 秒かかる。「速さ」が正しく理解できているか、小学生の算数からの積み重ねが問われるともいえる。普段から式や計算結果の意味を正しく理解しながら解くことを意識したい。
- 3(2) 【春期・夏期の講習会】でも扱った「2 人の移動距離の和が〇m になればよい」ことについて方程式をたて解く問題である。講習会の復習は期間をあけて繰り返し行うことでより定着が図れる。

【第四問】平面図形〈やや難～難〉15 点

- 1 合同や相似といった定番の証明が傾向として続いていたため、生徒にとっては書きにくかったと思われる。
- 2 $\angle DCA=90^\circ$ に気付ければ、第四問の中では得点できる、偏差値 50 台後半以上の生徒は特に差のつく 1 問であった。
- 3 【実戦ゼミ第 14 回】で扱っているパターンだが難しい。正答率が 0% に近くなるような難問というまではいかないものの、飛ばして他の問題に時間を割くという判断でよい。

【点数内訳】

中 1 内容 42 点 中 2 内容 15 点 中 3 内容 43 点